

経営心理学各論 課題2 (授業の振り返り)

問1. ダイバーシティ (diversity) とは何か。

- a. 多重性
- b. 多能性
- c. 多用性
- d. 多様性
- e. 多動性

問2. ダイバーシティの発展に影響を与えたものを3つ選べ。

- a. 60～70年代に起こった女性解放運動
- b. アフリカ系アメリカ人の公民権運動
- c. マハトマ・ガンジーの非暴力不服従運動
- d. 日本国憲法第十四条
- e. 江戸幕府の鎖国政策

問3. ダイバーシティ・マネジメントが重要視されるようになった要因として不適切なものを2つ選べ。

- a. 企業の海外進出
- b. 企業の福利厚生制度の充実
- c. 経済グローバル化の進展
- d. 高騰する賃金の抑制
- e. 新しい価値創造の可能性

問4. 以下の文言が記されているのは何という法律か。

- ・使用者は、労働者の国籍、信条又は社会的身分を理由として、賃金、労働時間その他の労働条件について、差別的取扱をしてはならない。
- ・使用者は、労働者が女性であることを理由として、賃金について、男性と差別的取扱いをしてはならない。

- a. 労働三法
- b. 男女雇用期間均等法
- c. 労働基準法
- d. 労働基本法
- e. 労働関係調整法

問5. 競争戦略のひとつである資源ベース論(Resource-based view)に関して不適切ものを全て選べ。

- a. ダイバーシティ・マネジメントは、他社が模倣できない経営資源を創造するために利用可能である。
- b. ダイバーシティは、組織によるマネジメントよりも個々人の自由に任せた方が競争優位に繋がる。
- c. 企業が希少性を帯びた経営資源を所有することは資源ベース論の必要条件である。
- d. VRIO分析におけるIは模倣可能な資源であることを意味するImitabilityの頭文字である。
- e. 経営戦略における最も重要な目的は持続的競争均衡を獲得することである。

問6. 以下の概念は表層的ダイバーシティか深層的ダイバーシティか。

表層的ダイバーシティ⇒A/深層的ダイバーシティ⇒B

- a. 経験 ()
- b. 知識 ()
- c. 年齢 ()
- d. 所得 ()
- e. 性格 ()
- f. 信仰する宗教 ()
- g. 自国の製品へのこだわり ()
- h. 性別 ()
- i. 国籍 ()

問7. 組織のダイバーシティを阻害する要因として正しいものを3つ選べ。

- a. 成功体験への固執
- b. 適材適所のマネジメント
- c. イノベーションを促進する経営体制
- d. 少数意見をないがしろにする組織体制
- e. 同一性を求める組織文化

問8. 評価者の誤謬について以下の内容に最も関係する語句を語群より選べ。

1. 面接の時の笑顔が素敵だったので、営業向きであることは間違いない。
2. ある上司は他の上司と比べて部下を厳しく評価するため相対的に部下全員の評価が低い。
3. あまり成績の良くない部署であるにも関わらず、その上司がつける部下の評価は概ね高い。
4. 面接に訪れた学生が自分と同じ町の出身だったので、その人の評価点を高めに付けた。
5. 7段階の評価尺度で全員を評価したが、皆4付近に寄ってしまい評価の差が少ない。

語群

- a. 中心化傾向
- b. 自己中心化傾向
- c. 自己類似効果
- d. 中心線傾向
- e. 寛大化傾向
- f. ハロー効果
- g. 厳格化傾向